

令和5年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一郎



### 記

事業の名称	防犯カメラ新規設置事業
事業実施前の状況	一部死角になり不安全、及び、犯罪者の逃走経路となるのではとの指摘及び、要望有り。
事業実施後の状況	犯罪者の逃走経路の減少及び、設置していると言うだけで、犯罪件数の減少、並びに犯罪者の早期逮捕につながる情報が集まりやすくなった。
事業の効果	設置個所が増えたことによる犯罪抑止効果ありと判断します。
今後の課題等	現状を継続しつつ、人任せの安全対策ではなく、自らの防犯意識向上を促し、各家庭への防犯装置の充実（支援/援助）を図り、防犯設備の設置等、見張り役の増強の見直し検討が必要であるとする。又、これからは、防犯設置機材として、防犯カメラ/車載カメラ/ドローン、緊急連絡手段として、放送設備（ドローンの有効活用含め）等の在り方を再度重点的に提案し、検討及び対応を考えたいと思います。

令和5年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



### 記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	交差点等の一部が死角になり、安全面に難あり、及び、不審者/犯罪者の逃走経路となるのでは等の指摘があり、継続を要望。
事業実施後の状況	設置箇所も増え、安全で安心な暮らしが出来る。又、第三の目（者）による長期休暇（夏休み/大型連休）等の不在期間中の見守りが可能となる為、継続を要望する。
事業の効果	設置個所が増えたことによる各犯罪抑止効果ありと判断します。…継続
今後の課題等	リースのような、安価な設投で、管理費の低減を図る。 又、家庭用防犯装置費用支援/援助策を提案し、各家庭への防犯装置設置希望者を募り、自らの防犯意識向上を促進させ、地域一丸となった防犯対策を実施する。 又、他地域(行政)が取り組んでいるドローン等(ドローンに替わる代替品…模索中)を活用した防災/防犯体制及び地区放送(全戸への緊急避難速報/警報)も再度提案/検討し維持管理(資格免許/教育含め)の促進。

令和5年5月31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井好一朗



### 記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	石橋地域コミュニティ内にある掲示板が長年の経時変化や劣化、水漏れにより痛みがひどくなっていた。
事業実施後の状況	防水対策やマグネット化により、掲示しやすく水漏れの恐れが無くなった。
事業の効果	水漏れによる掲示物の痛みが無く安心である。地域ボランティアや石橋コミュニティ推進協議会の活動、お知らせ等を広く周知することが出来た。
今後の課題等	掲示物の貼付けや交換が、もっと簡単に素早く出来ることが望ましい。

2022年 10月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会  
 会長名 松井 好一朗



記

事業の名称	地域行事等活動促進事業（納涼大会）
事業実施前の状況	当事業も地域内の活動が浸透しており、3年振りの実施有無やコロナ感染状況を杞憂する声を寄せられて、厳しい状況が続く中、感染防止の対策を協議して、期待に応えた。
事業実施後の状況	公園入口で手、指の消毒等3密を実施した。 調理模擬店を止め市販の個別食品とゲーム類に制約して参加者から若干の不満も聞かれたが安全意識を喚起することで、大きな事故もなく終えられた。 参加者約1800人
事業の効果	運営を手伝う人、石橋小、中学校の先生方や模擬店に参加する団体、参加者が年々増加し、盛大に行われコミュニティ活動行事が充実した。
今後の課題	参加者の多くが自転車で来られるため、狭い公園に駐輪する余裕が無い場合、駐輪場の確保か使用禁止を図る必要がある。

以上

令和 5 年 3 月 31 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井好一郎



記

事業名称	公園整備事業①
事業実施前の状況	石橋公園の進入路が、長年の使用により表面が劣化し、通行時に転倒の恐れがあった。
事業実施後の状況	公園が憩いの場・遊びの場・集合の場として利用できる公園として、地域住民が安心して利用できるようになった。
事業の効果	公園の進入路が整備されたことにより、お年寄りや乳母車を使って、安心して公園を利用できるようになった。
今後の問題点	今後も施設の経年劣化が考えられ、注意深く監視してゆくことが求められる。

令和 5 年 3 月 31 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井好一郎



記

事業名称	公園整備事業②
事業実施前の状況	公園内の花壇に散水をするための水を運ぶのに時間を要していた。
事業実施後の状況	公園の花壇の近くに散水栓を設置したことにより、効率的に散水が可能になった。
事業の効果	花壇の散水に係る時間が短縮された。
今後の問題点	公園内に設置されているプランターにおいても、ホースによる散水ができる方法を検討する必要がある。

2022年10月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会  
会長名 松井 好一朗



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業（市民運動会）
事業実施前の状況	当事業も地域住民も市民運動会として毎年10月第2日曜日に開催されることが浸透しているがさらに幅広く参加を呼びかけたい。
事業実施後の状況	制約があったが3年振りに開催されたが多くの人参加して大盛況で大きな事故もなく終えることが出来た。
事業の効果	石橋校区スポーツ振興会を中心に各団体間の連携がスムーズになり、協働する参加者が年々増加し、各人間の繋がりも太くなった。
今後の課題	当運動会も長年継続的に開催されているがプログラム種目に新鮮さを図り、より参加意欲を盛り立てたい。 スポーツ推進委員の存在、活用方法を図る必要がある。

以上

令和5年5月31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井好一朗



### 記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	コミュニティ各部会が行う事業や関心のある課題を住民に周知することで、コミュニティの存在と役割を知ってもらう事業。
事業実施後の状況	年間2回のコミュニティ紙の発行事業で、新型コロナ禍における旭丘、井口堂及び石橋における活動内容と地域性を広く伝達できた。
事業の効果	新型コロナ禍に関係したこと、地域ボランティアの活動、学校と地域のつながり、石橋コミュニティ推進協議会の活動等を広く周知することが出来た。
今後の課題等	新型コロナ禍の影響が低下した後のボランティア活動の状況、敬老の里プロジェクトの今後、等の記事を扱いたい。



# 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



## 記

事業の名称	避難行動要支援者対策事業
事業実施前の状況	引き続きの事業で 要支援者への顔なじみもできている
事業実施後の状況	地区の要支援者の近況や所在確認した
事業の効果	現況調査も引き続き行い、要支援者の方々には安心して生活してもらえている。担当の要支援者の避難計画書を訪問先ですぐ取り出せるよう、仕分けできるファイルを購入し 担当者の負担を軽減した。
今後の問題点	コロナもまだ安心できる状況ではないが、年度後半では訪問して対面で現況調査も少しずつできるようになった。ただ、この事業への周知が進んでおらず、同意書を提出されているにも関わらず、辞退される方もいるので、行政の面からも周知させてもらえると、スムーズな調査ができるのではないか。

令和5年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一朗



### 記

事業の名称	地域防災体制強化事業（避難訓練/防災備品整備等）
事業実施前の状況	緊急時に何が出来るか、何をすべきか、緊急時の対応（連絡含む）方法、又、新型コロナ等の感染症が発生した場合の避難及び避難所での対応方法等についての新しい知識習得が必要不可欠である。
事業実施後の状況	1部（午前の部）；石橋小学校（5年生）約105名 事前に各教室にてDVD『釜石の奇跡』を鑑賞後、体育館へ集合、簡易間仕切り/簡易ベッドの組立及び中庭にて消火器の使用方法体験 2部（午後の部）；石橋中学校（2年生）約125名 前日の雨により運動場のコンディションが悪く、各教室にて、ZOOMを活用したグループ討議『テーマー；大型台風が池田市に直撃の予報、皆さんどう考えますか』へ変更。各自、意見を出し合い、考える防災学習を実施。 又、備品購入に於いては、各イベント等実施時に使用していた拡声器が（不調）故障したため、野外でも簡単に使用できる物品を急遽購入変更、及び、当初から予定していた避難所マップ（石橋校区用）作成/配布（選挙等の関係も有り、配布時期が4月へずれ込む）、その他の購入品は再度メンバーと打ち合わせを実施し、購入見送り（様子見）とした。
事業の効果	1部（午前の部）の小学生対象については、DVD『釜石の奇跡』を見て、自然の驚異、判断等、何かを感じ取ってもらえたと思います。又、簡易間仕切り/簡易ベッドの組立及び中庭にて消火器の使用方法体験をすることにより、普段できないことが出来たので、よい経験となった。 2部（午後の部）の中学校対象に於いては、新しい取組みとして、ZOOMを活用したグループ討議『テーマー；大型台風が池田市に直撃の予報、皆さんどう考えますか』とし、各自、意見を出し合い、考える防災学習が出来、自分の住んでいるところの状況での対応方法等見直す機会が出来た。 又、避難所マップについては、自分はどこへ避難するのか、何を日頃から準備をしておけば良いか等の家族内での相談（見直し）のきっかけが出来た。
今後の課題等	各種の災害時（発生時間）に即対応が出来るか、訓練内容（夜間含め）を変えつつ継続実施する。学校の設備に頼らず、公園等にて何も無い場所で一から炊き出し等が可能かやってみる価値あり。又、傷の手当他、身近にある品物を応用し、簡単に出来る方法等も織り込んでの実施としたい。何事も実践（経験）を積んで、少しずつ自分の事は自分でやる（創意工夫）、他人を助けられる余裕を持った育成に努める必要あり。又、最新情報入手、迅速な展開及び共有方法の手段検討が必要を実感する。

令和 5 年 3 月 14 日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好 一 朗



### 記

事業の名称	地域内会館備品整備事業
事業実施前の状況	コピー印刷機設置前は、各団体から各自でコピー機等 でコピー印刷していたり、多量の場合は、学校等で 印刷機を借りて印刷していたり、かかる費用や時間も多量に かかっていた。
事業実施後の状況	コピー印刷機設置後は各団体の会館でコピー機 を揃え、コピー印刷が非常に便利になった。
事業の効果	費用、時間も大幅に短縮でき、各団体も、地域住民 にも多くの利益をもたらした。 特に枚数が多量の場合、他人に遠慮なくコピー機を 使わせてもらうことができた。
今後の問題点	設置場所が、会館の2階の廊下に置いてある。仕事 のしやすさ、音、他の使用者への迷惑を考慮して いる。ゆくゆくは部屋の中に納めたい。

令和5年5月31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井好一朗



### 記

事業の名称	地域活動支援事業
事業実施前の状況	納涼大会等の準備、後片付けの際、備品や機材を運搬するのに個人所有の軽トラックを借りていた。
事業実施後の状況	個人所有なので今まで借りられない時もあったが、レンタカーにすることによって、確実に使用できた。
事業の効果	石橋小学校、中学校などから石橋公園へ備品や機材の運搬がはかどり、スムーズに準備後片付けが出来た。
今後の課題等	今まで個人所有の車を無償でお借りしていたが、車の所有者と運転者が異なる場合、事故が起こった時の保険保証が車の運転者個人になってしまうので、出来るだけレンタカーを使用したい。

令和 5 年 3 月 31 日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好 一 朗



### 記

事業の名称	リサイクル活動事業
事業実施前の状況	一般のゴミと一緒に燃却されているペットボトルキャップを回収し再加工により新製品となること意識が低い
事業実施後の状況	原油価格の値上り、資源を生かしていくことと地域住民に知ってもらい、回収事業の更なる理解を深めている。
事業の効果	キャップの色分別を東山作業所中心に、自立支援事業と後押ししている。
今後の問題点	・キャップリサイクル品目を増やす。 ・石橋地区から市内各小中学校への参加を計る。 ・回収ボックス設置の増設と回収ボランティアの増員。

令和 5 年 3 月 31 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井好一郎



記

事業名称	地域美化整備事業①
事業実施前の状況	継続して地域の街路や公園に花をうえ、美しい街づくりを行っている。
事業実施後の状況	プランターに花を植えていただくための花を配布し、地域の皆さんに心安らぐ空間を作った。また、「SDGs てなに」というチラシを配布し、きれいな地球環境を次世代に残す啓発を行った。
事業の効果	地域の皆さんに心安らぐ場所づくりになった。 地域の皆さんの環境に対するモラル向上につながった。
今後の問題点	植栽した花を長期にわたって維持することが難しいので、花を選定するときに、注意する必要がある。

令和5年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井 好一郎



### 記

事業の名称	交通安全モラル啓発事業
事業実施前の状況	一旦停止無視/スピードの出し過ぎ/無灯火/ながら(スマホ操作他)運転等、手本となる成人が違反行為が減らない現状、及び、自転車転倒自の頭部損傷による死亡率の上昇を踏まえて、ヘルメットの着用努力義務化等如何に順守出来るか。
事業実施後の状況	本年度も新型コロナ感染拡大防止等が縮小傾向になり、幾分か各種行事(イベント)等の実施が可能となったものの、集客増員となるようなイベント内容がまとまらず、中止とさせていただく。
事業の効果	中止により、評価できず。
今後の課題等	集客力(集客人員UP)向上をめざし、社協との連携を図り、開催件数を増やししながら、全体の集客力向上を目指す。 又、如何に自転車運転時のヘルメット着用率を上げる施策を早急に練り直し、有意義(魅力)あるイベント内容としていきたい。

令和 5 年 3 月 31 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 松井好一郎



記

事業名称	地域美化整備事業②
事業実施前の状況	継続して地域の街路や公園に花を植え、美しい街づくりを行っている。
事業実施後の状況	公園の花壇の整備を行い、公園を利用する皆さんに心安らぐ空間づくりになった。
事業の効果	生徒さんと、ペットボトルキャップで作成したプランターに花を植え、身の回りに花を楽しむ機会を与え、地域美化の考えを知ってもらうと共に資源の大切さを確認した。
今後の問題点	公園の花壇の散水についての効率化を図る必要がある。



様式第4号

2022年9月30日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

会長名 松井 好一朗



記

事業の名称	三世代交流事業（ナイトフェスティバル）
事業実施前の状況	コロナ感染状況を把握し、3密を守ることで開催可との結果を出し、模擬店の内容を協議して調理食べ物を止めた。天気予報も60%可能と準備を進めたが、学校や協議会の中から順延が望ましいとの意見を取り入れた。
事業実施後の状況	順延開催だが、池田高校の吹奏楽部の演奏、ゲーム主体の模擬店に子ども達が喜び、今回初めて組み込んだ幼児、年少者の花火と打ち上げ、仕掛け花火に参加者が大いに盛り上がったフェスティバルとなり来年度も開催要望を得た。
事業の効果	模擬店、花火、アトラクションとスタッフが一体で思案し、協議して、開催出来参加者一同が感激した。
今後の課題	来場者の多くが自転車で来るため、狭い場所で混雑し整理に多くの人を配置する必要性があり、イベントへの自転車自粛要請を進めたい。

以上